

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和元年度対象)

令和2年8月

九十九里町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、すべての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されています。

本報告書は、令和元年度の教育委員会事務の管理及び執行の状況について、教育に関する学識経験者の意見を活用して、点検及び評価を行い報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

九十九里町教育委員会教育委員名簿

| 職名 | 氏名 | 退任年月日 | 氏名 | 就任年月日 |
|----------|-------|------------|-------|------------|
| 教育長 | 中村 誠一 | 令和元年9月30日 | 藤代 賢司 | 令和元年10月1日 |
| 教育長職務代理者 | 花澤 礼孝 | 令和元年9月30日 | 並木 千明 | 令和元年10月1日 |
| 委員 | 並木 千明 | | 花澤 礼孝 | |
| 委員 | 川崎 修 | | 川崎 修 | |
| 委員 | 作田 光代 | 令和元年12月21日 | 石田 米子 | 令和元年12月22日 |

1. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会会議の開催並びに審議について

令和元年度においては、12回の定例会と1回の臨時会を開催し、以下の議案の審議を行いました。

- ・令和元年度の教育方針について
- ・要保護準要保護児童生徒の認定について
- ・高校進学奨励費受給者の認定について
- ・就学指定変更の認定について
- ・区域外就学の認定について
- ・社会教育委員の承認について
- ・山武地区教育委員会連絡協議会表彰者の推薦について
- ・令和元年度教科用図書山武採択地区協議会規約の承認について
- ・令和元年度教科用図書山武採択地区協議会委員の承認について
- ・令和2年度使用教科用図書採択の承認について
- ・全国学力・学習状況調査結果の扱いについて
- ・教育長職務代理者の任命について
- ・九十九里町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- ・九十九里町学校給食センター管理規則の一部改正について
- ・九十九里町学校給食センター運営規程の一部改正について
- ・九十九里町地域福祉計画策定委員会委員の推薦について
- ・九十九里町教育委員会行政組織規則の一部改正について
- ・九十九里町学校のあり方検討委員会設置要綱の制定について
- ・新型コロナウイルス感染症に係る対応等について（臨時会）

(2) 教育委員会会議以外の活動について

- ①教育長・教育委員は、各学校の主な行事（入学式、運動会等）に出席し、各地域住民の教育ニーズの把握に努めました。また、町の主な行事については、台風や大雨の影響により町民体育祭や町文化祭等が中止となったため、参加することができませんでした。
- ②教育長・教育委員は、各学校を訪問し、学校の教育状況及び施設・設備の状況把握に努めました。また、町給食センターを訪問して給食試食会を実施し、学校給食の現状把握に努めました。
- ③教育長・教育委員は、郡、県ブロックの各教育委員会連絡協議会主催の研修会に積極的に参加し、教育に関する識見を高めました。

- ・ 5 / 3 1 関東甲信越静市町村教育委員会研修会
金田一 真澄 氏 「人生100年時代を見据えた高等教育の在り方」 (山梨県北杜市)
- ・ 1 1 / 1 山武地区教育委員会連絡協議会研修会
読み聞かせグループ マザーグース 「瞳(め)で見て、心で聴くお話会 ～本の素晴らしさを伝えて～」 (大網白里市)
- ・ 1 1 / 1 5 千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会 (第1回) 中止
- ・ 1 / 3 0 千葉県市町村教育委員会連絡協議会研修会 (第2回)
認定NPO法人 発達わんぱく会 理事長 小田 知宏 氏
「特別な支援を必要とする子どもへの支援 ～発達障害児を取り巻く多様な支援策と、現場の対応～」 (市原市)

2. 第四次町総合計画「第5章まちを担う人材育成と豊かな心をつくるまちづくり」の基本方針及び事業について

このような姿を目指します。

●次代を担う健やかな子どもの育成

学校・家庭・地域の連携による特色ある学校づくりが推進されており、児童・生徒が自ら学び、自ら考える力を育んでいます。

●多様な学習活動のあるまちづくり

誰もが気軽に学習機会を得ることができ、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる環境が整っています。

また学習活動の成果を社会に生かそうとする気運が高まっています。

●個性ある地域文化の継承と創造

町民一人ひとりが文化に親しみ、九十九里らしい地域文化に愛着と誇りを感じています。

◎施策評価結果

【次代を担う健やかな子どもの育成】

| 幼児教育の充実 | | | |
|-------------|--|---|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 幼稚園就園奨励費の補助 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の経済的負担軽減のため、入園料及び保育料に対し、所得状況に応じ補助を行った。 事業費：2,085,700円 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月から幼児教育・保育の無償化事業が実施され、主管課が社会福祉課となりましたが、引き続き幼児教育の充実のため、主管課と連携を図る。 | 継続 |
| 私立幼稚園の振興補助 | <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の経営基盤の安定化の一助として、経常費の一部を補助した。 事業費：500,000円 | <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の教育条件の維持、向上を図るため、引き続き補助を行っていく。 | 継続 |
| 幼児教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月の「とようみこども園」開園により、九十九里町立幼稚園の全てがこども園に移行した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども園への移行に伴い、主管課が社会福祉課となりましたが、引き続き幼児教育の充実のため、主管課と連携を図る。 | 継続 |

| 教育内容の充実 | | | |
|------------------|---|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 小中学生の基礎学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書の奨励（朝読タイム）や朝の10分間テスト（主に国語や算数の小テスト・ドリル学習）等の実施により、基礎学力の向上に努めた。 ・児童生徒の学習への興味・関心を高め、自ら課題を見つけ解決する分かりやすい授業への改善に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続し読書の奨励や朝の10分間テストを実施するとともに、授業へのICT機器の積極的な活用を行うことにより、分かりやすい授業の実施に努め、併せて学習規律（挨拶、聞く態度、学習中の姿勢、鉛筆の持ち方等）の徹底を図っていく。 | 継続 |
| 体験学習を重視した総合学習の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な校外学習（福祉体験、米作り、野外炊飯等）や職場体験学習を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との連携・協力のもと校外学習を継続実施するとともに、必要に応じ校外学習や職場体験学習の活動内容を見直し、より充実した体験学習の機会を提供する。 | 継続 |
| 語学指導外国青年招致事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上を目的に、中学校1名、小学校1名の外国人英語指導助手を配置した。児童生徒が、外国語に触れ、言葉を通して外国の生活や文化などに、興味や関心を持つことができた。 事業費：10,485,766円 | <ul style="list-style-type: none"> ・英会話の基礎を習得し、積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、継続して事業を行う。 | 継続 |

| | | | |
|-------------------------|---|---|----|
| 情報化教育の強化 | ・平成29年度、平成30年度に小学校及び中学校に導入したタブレット型パソコンや電子黒板等のICT機器を有効的に利用し、児童生徒の学力及び情報モラルの向上に努めた。 | ・国では令和時代のスタンダードとして児童生徒1人1台端末を掲げ、様々な補助制度が新設されていることから、今後、補助制度を活用し計画的に教育ICT機器の整備を図る。 | 継続 |
| 心の教育の重視 | ・人権教室、思春期健康教室等を実施した。また、道徳教育を推進し、子ども達の豊かな心の育成に努めた。 | ・引き続き人権教室や思春期健康教室等を実施するとともに、道徳の授業時数の確保や道徳と他教科との連携等により心の教育の充実を図る。 | 継続 |
| 教職員の研修の充実 | ・道徳教育の授業研究、授業力アップ研修、職員相互授業参観等を実施した。 | ・校外研修への積極的な参加、校内研修の計画的な実施、校内授業研究会への他校教職員の参加等により教職員の資質向上に努めていく。 | 継続 |
| 郷土を愛し、社会で「生きる力」を持つ人材の育成 | ・九十九里音頭や大漁節の練習、郷土料理の学習など、地域文化を授業に取り入れ、郷土への関心を高めた。 | ・郷土芸能や郷土料理、町指定文化財などの郷土文化の良さを再認識するため、地域住民との連携のもと、郷土愛の高揚に努めていく。 | 継続 |

| 心の教育の充実 | | | |
|--------------------------|--|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 「心の九十九里ルール」の実践化 | ・豊かな心の成長を図るため、7つの目標を掲げ、児童生徒と教職員が協働し、実践化を図っている。更に、評価カードによって達成度を確認し、意識を高めている。 | ・学校、家庭、地域が連携することで意識の一体化を図る。 | 継続 |
| 心の教育相談員の配置とカウンセリングルームの設置 | ・心の教育相談員を活用した不登校支援教室の充実やスクールカウンセラーによるカウンセリングは、児童生徒の大きな支えとなっている。また、適応指導教室等関係機関とも連携した支援体制が構築されている。 事業費：420,000円 | ・関係機関との連携や個別の学習支援等を進める中で、自己肯定感を高めていきたい。併せて、中学校での長期欠席は小学校期の欠席状況が関連しているとの統計がある。その点からも小・中学校の連携の強化を図る。 | 継続 |
| 公開授業（道徳教育）の実施 | ・授業参観や授業錬磨等を実施し、保護者及び教育関係者に授業を公開し、開かれた学校づくりに努めた。 | ・授業参観や授業錬磨等を実施し、保護者及び教育関係者への授業公開に努め、家庭、地域社会と連携した道徳教育を推進する。 | 継続 |

| 特別支援教育の充実 | | | |
|----------------|--|---|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 就学指導と特別支援教育の充実 | <p>・教育支援委員会や引き継ぎ会を通して、こども園・小学校・中学校の連携を図り就学支援を行った。また、支援員等を配置し、支援体制の整備を行うとともに、特別支援学級に就学する児童若しくは生徒の保護者に対し必要な援助を行うことにより、それらの保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費補助金を交付した。</p> <p>【支援員】 豊海小学校 1名 片貝小学校 2名 九十九里小学校 2名</p> <p>【特別支援教育就学奨励費補助額】 九十九里中学校 129,280円 豊海小学校 103,490円 片貝小学校 194,065円 九十九里小学校 107,400円</p> | <p>・特別な教育的支援が必要な児童生徒の支援体制を整備する中で、保護者・学校と協議し、児童生徒の実態に合わせた支援が適正に行われるよう、支援員等の配置を進める。</p> <p>・引き続き補助を行い、保護者の経済的負担軽減を図る。</p> | 継続 |

| 開かれた学校づくりの推進 | | | |
|---|---|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| アンケート等による学校関係者、児童生徒、保護者、地域住民等の意見の教育現場への反映 | <p>・児童生徒、保護者アンケートの実施や学校関係者評価委員会を開催し、保護者や地域住民の学校運営への参画の促進に努めた。</p> | <p>・引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、学校運営や日常の教育実践等への反映に努める。</p> | 継続 |
| 地域住民や地元の自然を取り入れた授業の実施 | <p>・地域の持つ教育力の活用を図る試みとして、ふるさとまつりへの参加、海岸清掃、田植え・稲刈り体験等を実施した。</p> | <p>・引き続き地域住民や地元の自然を取り入れた取組を模索し、積極的に授業に組み込んでいく。</p> | 継続 |
| 教育活動の公開並びにミニ集会の実施 | <p>・授業参観など様々な機会に学校を開放することで、より確かな学校評価ができ、それをもとに教育活動の改善に努め、より開かれた学校づくりを進めた。</p> | <p>・学校、家庭、地域が課題を共有し、課題解決の手立てを示すことで、より質の高い教育を目指し、学校評価の更なる充実を図る。</p> | 継続 |

| 教育環境の整備 | | | |
|---------------------|---|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 学校施設の適正な維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備を設置し、学習環境の向上に努めた。 ・老朽等により不具合が生じている施設の整備を行い、教育環境の向上に努めた。 九十九里中学校 事業費：65,269,200円 【空調設備設置工事 柱上開閉器修繕 他】 豊海小学校 事業費：43,849,899円 【空調設備設置工事 体育館天井ﾌﾙ撤去工事 他】 片貝小学校 事業費：54,763,547円 【空調設備設置工事 フェンス設置工事 他】 九十九里小学校 事業費：42,461,352円 【空調設備設置工事 フェンス設置工事 他】 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な施設の安全点検と補修修繕等を行い教育環境の整備に努める。 ・災害時避難所の役割を担う学校施設の整備を進める。 | 継続 |
| 給食調理及び配送の委託 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食業務（調理・配送）委託事業は平成19年度から実施している。また、平成21年度二学期から給食センターでの米飯自炊を開始し、炊飯料の節約に努めている。 ・委託業者、栄養士（栄養教諭・技師）、町職員との連携により安全・安心な給食の提供に努めた。 ・配食日数 年間 172日（3月実施なし） ・配食数 日平均 933食 ・事業費 43,411,200円 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食献立計画を作成し、旬の食材を活用した行事食・千産千消・郷土料理などを取り入れ児童・生徒にとって魅力ある給食の提供に心がける。 ・給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図る。 | 継続 |
| 学校給食における食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食の提供に努めた。 ・給食時に栄養士による訪問指導を実施し、食育の推進を図った。 ・給食だよりの配付や校内放送により食育情報の提供を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に対し、栄養効果や健康管理について給食を通じた食育を推進する。 | 継続 |
| 学校給食センター調理機器等の整備の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食提供に影響する緊急性の高い施設や調理機器等の修繕を実施した。 ・衛生管理上不適合、不具合な設備・調理機器等の修繕を実施した。 ・修繕 32件 4,665,450円 【消毒保管庫、検収室ｼｯｸﾞｰ、回転釜、水栓ﾊﾞｰ交換 他】 ・改修工事 5件 3,285,830円 【調理場窓ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ施工工事、ﾄﾞﾚｯﾊﾟﾝ設置工事 他】 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した修繕や使用限界を迎える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童・生徒に安全安心な給食を提供する。 | 継続 |

【多様な学習活動のあるまちづくり】

| 生涯学習の推進 | | | | |
|------------------------|---|--|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | | 今後の取り組み方針 | |
| 生涯学習機会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年恒例になっている町民文化祭における作品展示発表、芸能発表のため、準備を進め予定をしておりましたが、台風第15号及び第19号の影響により中止となりました。また、短歌大会を開催し、町の文化振興に寄与した。 【各種大会】短歌大会 51人 町民文化祭延 ー ー ー 人 【公民館主催】 5講座 【自主サークル同好会】 36団体 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現代に即した公民館講座の開設運営及び県内の文化活動情報の提供を行う。 ・高齢化社会の進行に対処し、同好会・サークル会員の増員を推進し、会の活発化を図る。 | 継続 |
| 生涯学習推進体制の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進大会で講演会と実践発表会を実施している。有名講師を招聘し、楽しく元気に生活することの大切さについて講話をしていただき、多くの町民の皆様によるこぼれている。 生涯学習推進大会（台風の影響により中止） 生涯学習推進協議会会議（2回） 生涯学習推進大会、生涯学習に関する取組を検討 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習推進大会を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。 | 継続 |
| 余暇の活用機会の提供 （公民館の開放） | <ul style="list-style-type: none"> ・36の同好会の生涯に渡る学びの場として、公民館を開放し余暇の活用機会の提供を行った。 【開館日数】 295日 【公民館年間利用者数】 13,331人 | | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催講座修了受講生を新規開設のサークル会員の対象とし、同好会開設を促す。 ・公民館主催講座修了受講生以外の受講希望者については、現在活動中の「同好会」等への入会を勧める。 ・館内各部屋の年間利用申請の調整を行い有効活用を図る。 | 継続 |
| 余暇の活用機会の提供 （図書の実践） | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者から希望の多い、一般書、児童書を購入整備し、読者ニーズに応え、余暇の活用機会の提供を行った。 【図書室利用状況】 開設日数 295日 入室者数 4,344人 貸出者数 2,502人 貸出冊数 5,484冊 蔵書冊数 20,645冊 1日平均19冊の貸出 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も読者ニーズ把握のアンケートを行い、利便性の高い図書室とする。 ・住民からのリクエストに応え、住民の読書機会の増加を図る。 ・夏休み読書感想文のための課題図書を購入し、小・中・高校生のニーズに応える。 ・県立図書館と連携を図る。 | 継続 |

| 家庭・地域の教育力の向上 | | | |
|----------------|--|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 家庭教育学級の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供することができた。また、地域に伝わる伝統文化の体験も行っている。 全体会として年に1回、講師を迎え、子育てについての講義を行っている。 九十九里中学校 (4回) 豊海小学校 (5回) 片貝小学校 (2回) 九十九里小学校 (4回) とようみこども園 (5回) かたかいこども園 (5回) 参加者 延べ保護者 468人 園児・児童・生徒 1,735人 内容 体験教室、交通安全教室 救命講習会、講演会、他 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級とは、家庭が本来果たすべき役割を見つめなおす機会になるよう、保護者自身が親の役割、子どもの心の理解など、家庭教育について考えあい、深めていく学習の場であり、今後も実施する。 | 継続 |
| 家庭教育支援の実施体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育に取り組む中で大切となる地域の健全育成活動の団体である、子ども会育成連絡協議会・PTA連絡協議会・青少年相談員連絡協議会との連携強化を図る為、活動補助金の交付を行い、団体の行事、研修、講習会の運営協力を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校、家庭、地域が連携して家庭教育を支援、青少年の健全育成を図る環境づくりを推進する。 | 継続 |
| 心の九十九里ルールの実践 | <ul style="list-style-type: none"> 7つの目標に向け、児童生徒と教職員、社会教育委員が協働し、実践化を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域が連携することで意識の一体化を図る。 | 継続 |

| スポーツ・レクリエーション活動の充実 | | | |
|--------------------|---|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 学校体育施設の開放 | <ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設を開放することにより、運動に親しむことのできる環境づくりを進めている。夜間の施設利用団体は非常に多く十分に利用されている。 利用団体数 上半期 (4~9月) 41団体 下半期 (10~3月) 41団体 | <ul style="list-style-type: none"> 各競技の技術向上や住民の健康保持のため、利用促進を図る。 | 継続 |
| 野球場の管理 | <ul style="list-style-type: none"> 軟式野球専用グラウンドとして、各種大会や練習に利用されている。週末の利用が多い状態である。 年間150件利用 | <ul style="list-style-type: none"> 町民の健康保持のため、利用促進を図る。 | 継続 |

| | | | |
|-----------------------|--|---|-----------|
| <p>団体及び指導者の育成・強化</p> | <p>・講師を迎えてスポーツ教室を行うことにより、多数の参加者が集まっている。青少年が様々なスポーツの体験をする機会となっている。 バドミントン教室の開催 講師 片山 卓哉 氏 参加者 85人 各専門部・協会の助成を実施</p> | <p>・年1回、スポーツ教室を開催し、競技人口の増加と指導者・ボランティアの育成を図る。 ・各専門部、協会への活動助成と山武郡市民体育大会出場助成を実施する。 ・スポーツ大会出場補助金の周知をすることで各種競技の活性化を図る。</p> | <p>継続</p> |
| <p>社会体育活動事業の実施</p> | <p>・レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、児童から大人まで広く町民の皆様に運動に親しむ機会を設けている。ゴルフやグラウンドゴルフなどの熟年層に親しまれる種目では、参加者数が多い傾向にある。 山武郡市民体育大会（総合5位） 17種目、参加者 364人 町民体育祭（台風の影響により中止） 町スポーツ・レクリエーション祭（台風の影響により中止） 山武郡市駅伝競走大会（5位） 各種成人大会 野球大会、ソフトボール大会、ゴルフ大会、バレーボール大会、バスケットボール大会</p> | <p>・町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として大会等の充実を図る。 ・各種成人大会を各専門部・協会が自主運営できるようにサポートを行う。</p> | <p>継続</p> |
| <p>体育協会加盟団体への活動支援</p> | <p>・スポーツ活動の中心である体育協会へ補助金の交付を行い、各種スポーツ団体の大会、研修、講習会を開催支援する。</p> | <p>・各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の養成、資質向上を図る。</p> | <p>継続</p> |

| 青少年の健全育成 | | | |
|-------------------|---|---|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 子ども会活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども会役員を中心に、多くの行事が企画運営されている。中学生以上のジュニアリーダーとの連携を図り、地域の子どもたちの縦と横のつながりを深めている。 子どもかるた大会（台風の影響により中止） ミニバスケットボール大会（49人） ポッチャ大会（32人） 見学ツアー（22人） ジュニアリーダーの育成、青少年相談員活動等の協力 | <ul style="list-style-type: none"> 青少年が社会生活を営むうえで、大切なものを身につけられるように、関係団体間の連携と活動の充実を図る。 子ども会育成連絡協議会役員や青少年相談員に対する講習会や研修会の積極的な参加を促し、指導者としての向上を図る。 | 継続 |
| 青少年活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全な育成のために見回り活動や体験活動をしている。青少年を地域で見守る活動の中心となっている。 夜間パトロール（延べ55名） 有害図書調査（6名） 国会議事堂・東京臨海広域防災公園ツアー（24人） カープミラー清掃（延べ20名：町内163カ所を清掃） 年2回実施 1回目：豊海地区 2回目：片貝・作田地区 | | 継続 |
| 夜間パトロールの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 夜間の見回り活動を行い、青少年を見守り非行防止に努めている。 夏休み期間中に 2回実施（町内） 青少年相談員連絡協議会、子ども会育成連絡協議会 3小・1中PTA 他 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施 夏休み期間中に2回実施予定 | 継続 |
| ジュニアリーダーズクラブ活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っている。子ども会行事等に積極的に協力を行っている。 中学生 20人、高校生 8人 定例会・研修会の実施、他団体の事業に対する応援 | <ul style="list-style-type: none"> 今後、継続的に活動するためリーダーの育成・人材の発掘を図る。 | 継続 |
| 有害図書対策の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 夜間パトロール時に町内コンビニエンスストアで有害図書調査を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> 法改正により設置店舗が減少したが、引き続き夜間パトロールと併せて実施する。 | 継続 |
| 通学合宿の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、体験活動を通して自主性や社会性等を身につけるために開催している。地域の方々の協力により、多くの参加希望者が集まっている。 対象 町内小学校4～6年生 3小合同 (1回目) 31人 (2回目) 29人 主催 通学合宿実行委員会 協力 食生活改善協議会、子ども会育成連絡協議会、ジュニアリーダーズクラブ、青少年相談員連絡協議会、各小PTA、サンライズ九十九里 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの社会性・自主性・協調性を養うことと地域で子どもを育てる意識の高揚を図るという目的のため、引き続き実施する。 | 継続 |

【個性ある地域文化の継承と創造】

| 地域文化活動の支援 | | | |
|---|--|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| チラシ、ポスター、文化団体連絡協議会会報等による活動の周知 指導者や後継者の育成と自主事業の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・会員手作りの文化団体連絡協議会会報を3月に発行し、活動内容の周知及び会員募集を行った。 ・公民館を中核的な施設として位置づけ、36の同好会やダイヤモンドクラブ等の活動の場を提供した。 <p>【同好会等会員数】471名</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化を普及振興し、活気に満ちたふるさとづくりに努める。 ・同好会等の館内利用者の固定化傾向を改善し会の存続・活発化を図るため、新規会員の加入を推進する。 | 継続 |
| 町民文化祭の開催 各同好会による作品の展示と芸能の発表の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示発表、芸能発表を行うため、準備を進め予定をしておりましたが、台風第15号及び第19号の影響により中止となりました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・芸能と作品発表の場をつくり、町民の生涯学習に寄与する。 | 継続 |

| 九十九里文化の継承 | | | |
|---|--|--|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 小学生を対象としたいわし漁に係る歴史教育の推進 (いわしの交流センター展示室の管理) | <ul style="list-style-type: none"> ・いわし漁と共に栄えた当時の町の歴史資料で、大漁の証「万祝」、船の木造模型及び船大工道具等を展示し、後世まで伝えるとともに、昔から「庶民の魚」とされてきた美味しい「いわし料理」を紹介し、小学生、中学生の郷土学習の場を創造、町民のふるさと文化継承の場として「いわしの交流センター展示室」の管理運営を行った。 <p>事業費：4,061,628円 来館者数：6,627人</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里文化の継承に努める。 ・業務の効率化を図るため今後、展示室の清掃及び生体鯛の管理について、指定管理者と協議を行い、業務の委託を推進する。 | 継続 |
| 郷土芸能和楽器の音楽教育への取り組みの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能連絡協議会に協力を得て、和楽器を学ぶことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞や鞆鼓舞の文化を学ぶために、小学校における郷土芸能和楽器の音楽教育への導入に努める。 | 継続 |

| 文化財の保護 | | | |
|----------------|--|--------------------------------------|----|
| 事業名 | 経過・結果 | 今後の取り組み方針 | |
| 有形文化財の保護活動の推進 | ・町に伝わる文化財を保存する為に環境の整備を行っている。 | ・文化財の発掘及び保存、活用に努める。 | 継続 |
| 郷土芸能大会の開催 | ・郷土芸能連絡協議会を中心に、町各種行事に参加している。各地区での活動も活発に行われている。 活動内容 ○各種行事等での発表 ○郷土芸能の保存伝承のため加盟団体へ補助金を交付 | ・3年に一度、郷土芸能まつりを開催する。 | 継続 |
| 獅子舞や鞆鼓舞等の電子情報化 | ・平成29年度郷土芸能大会の際に撮影した映像を電子情報化し、随時貸出しを行っている。 | ・郷土芸能まつりを開催した際に、獅子舞や鞆鼓舞を撮影し、電子情報化する。 | 継続 |
| 古文書等の保管と展示の推進 | ・いわし博物館の爆発事故以来、県立博物館等に寄託している古文書等については、各博物館での企画展等において展示を行い活用を図っている。 | ・今後、展示保管施設の整備に向け関係機関と協議を進める。 | 継続 |

評価委員会所見

【次代を担う健やかな子どもの育成】

- 『認定こども園』が完全実施され3年が経過し、社会福祉課と教育委員会の連携による幼保一元化も定着してきた。今後、私立幼稚園も含め、幼児教育の更なる発展を期待したい。
- 語学指導外国青年招致事業については、小学校への英語教育の導入が始まり、増々重要性が増してきている。これからも英語教育充実のため小学校教員の語学研修の推進と『学校ボランティア』の活用も検討願いたい。
- 情報化教育の強化については、児童生徒1人1台端末を見据えて小中学校の校内ネットワーク環境整備を実施するため3月補正で予算計上したとのことであるが、今後ICT機器を活用した授業に期待したい。
- 就学指導と特別支援教育の充実では、児童・生徒の将来を見据えた就学指導が行われ、支援員の配置による支援体制がなされていることと保護者に対して経済的負担軽減を図るため就学奨励費が継続して交付されていることは評価したい。
- 教育環境の整備については、児童・生徒が安全に学校生活を送れるよう施設の点検、整備が行われてきた。特に、本年度は小中学校に空調設備設置工事が実施されたことは大いに評価される。

【多様な学習活動のあるまちづくり】

- 台風の影響により生涯学習推進大会・講演会、町民文化祭、町民体育祭、町スポーツ・レクリエーション祭が中止になったことは、楽しみにしていた町民にとっては残念なことであったと思う。しかし、その時々々の状況を判断し中止の決定をした教育委員会の対応は是と評価したい。
- 社会体育活動については、学校体育施設の開放や町民グラウンドの利用促進が図られている。またスポーツ教室も毎年競技種目を変えて開催されている。新型コロナで施設の開放が3月、一ヶ月間使用中止としたが感染拡大防止のため適切な対応であったと判断する。
- 青少年の健全育成では、少子化により子ども会活動が停滞している地域も発生してきている。そのような状況の中で、子ども会育成連絡協議会役員や青少年相談員等諸団体の協力のもと、子ども達の為に地域活動が行われていることに敬意を表したい。特に、ジュニアリーダースクラブの育成は、子ども間の健全育成に大きな意義があると思われる。助言指導・支援を行っている教育委員会の対応に敬意を表したい。

【個性ある地域文化の継承と創造】

- 『いわし交流センター展示室』のイワシの回遊水槽は、メインの展示物であり、興味を感じる来館者も多いと思う。小学生、中学生の学習の場にも活用されているということで、管理は大変であるが継続されていくことを期待したい。
- 平成29年度に3年に一度の『郷土芸能大会』が開催された。その際に撮影された映像を電子情報化し、貸出しをおこなっているが、過去の大会については電子媒体がVHSテープであるため再生機器が無くなっていて借り手がいないとのことである。現在は電子媒体DVDで作成しているとの事であるため、引き続き利用しやすいよう推進しつつ、過去の物についても対応するよう期待する。
- イワシ博物館にあった古文書等が、県立博物館等で保管、活用されていることは良いことであるが、町の貴重な文化財である古文書等がなるべく早く町で保存が成されるよう期待したい。